



学校教育目標

やさしく・かしこく・たくましく

～豊かな心で、共に生きる力をもつ中部の子～



【学校長の願い 3つの柱】

- ・自分も周りの人のことも大切にできる子
- ・自ら学ぶ楽しさを味わい友と学びあう子
- ・心身共に健康に自ら生活を創っていく子

【軽井沢町の願い】

- 「心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成」
- 「こぶし教育」(心・文化・自然)
- ◎ころ: 軽井沢の心の育成(人・物・環境への思い)
- ◎ぶんか: 国際親善文化観光都市にふさわしい人材育成
- ◎しぜん: 自然を愛し自然環境を守り続ける人材育成

やさしく

自分も
周りの人のことも
大切にできる子

- 1 共に学び合う仲間づくり
 - 子どもと子ども 子どもと職員
 - のあたたかな関係づくり
 - 実際のできごとを通して
 - 語り合い創っていく過程の重視
- 2 子どもへのあたたかな評価と
保護者との信頼づくり
 - 学習の過程、その子の成長を
 - 認め、丁寧に振り返っていく
 - (道徳、全教科にわたって)
 - 地域・保護者と信頼関係を結び、
 - その子らしさを見つめ育む

かしこく

自ら学ぶ楽しさを
味わい
友と学びあう子

- 1 子どもに委ねる
 - 学習の主導権をもっと子どもに
 - 「好き」「楽しい」を探究する学習
- 2 授業改善
 - 個に応じた多様な学び方の研究
 - 探究的協働的な学習の実践
 - 町合同研修・連携をもとにした
 - 授業改善の研修
 - 自ら取り組む「自学ノート」「寺子屋プ
 - リント」「マスターノート」の実施
- 3 専門性を生かした授業実践
 - 「教科担任制」による専門的技量
 - を生かした授業実践・児童理解

たくましく

心身共に健康に
自ら生活を
創っていく子

- 1 自立心を育む活動
 - 清掃などの日常生活や、行事を
 - 通しての子どもの成長を見つめ、
 - 共に歩む
- 2 心身共に健康な子どもの育成
 - 遊び・体力作りを通して健康作り
 - 個性・命と健康を大切に教育
- 3 学校生活を自ら創る意識づくり
 - 児童主体の学校行事
 - 児童による生活の問題解決
 - 家庭との連携(食事、運動、メ
 - ディアコントロール)



研究テーマ 表現・発信を通じた 児童のウェルビーイングの実現

「ちょっとした学級の活動部会」

- ・やりたいことにチャレンジ
- ・係活動で表現・発信
- ・〇〇さんのウェルビーイングとは
- ・学級会で創っていくわたしの学級
- など 児童が創る学級を支える

「ちょっとした学習の工夫部会」

- ・学び合い学習・誰もがミニ先生
- ・ICT活用と発信・共有
- ・作戦・考え・思いを大切に表現
- ・触れて感じる体験の重視 など
- 表現の多様性の尊重する

「環境アイテム部会」

- ・自由なアウトプットの場
- ・IU CHUBU HARU CHUBU
- ・KAKU CHUBU OTO CHUBU
- ・しゃべり場 など
- 環境づくりによる支援を探る

特色ある教育

★ICT活用・情報モラル教育

- ・ICT活用の効果的授業展開
- ・教科等横断的なICT学習
- ・オンライン授業の発展的展開
- ・情報モラル教育の実践

★地域とつながる支援(CS)

- ・熊講習
- ・軽井沢彫り
- ・読み聞かせ
- ・スケート学習
- ・クラブ活動支援・カーリング
- ・軽井沢での野菜収穫 等

★軽井沢に学ぶ教育活動

- ・軽井沢の歴史・自然・文化のよ
- さを再発見する軽井沢ゼミ
- ・地域の特性を生かしたイマ
- ジョン教育、英語、国際理解教育